

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
国語	論理国語	2	理数	必修	2
使用教科書 副教材等	「探究 論理国語」（桐原書店） 「近代小説四選」（桐原書店）				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	評論 「チンパンジーは『おせっかい』をしない」 論文を読む 「変身に伴う快楽と恐れ—『山月記』を通じて」	・ 論理展開が明解な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。 ・ 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。
二学期中 間考查まで	評論 「木を伐る人／植える人」	・ 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自然と人間の関係を見つめ直し、思索を深める。
二学期末 考查まで	評論 「ロボットは心を持つか」	・ 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、進歩する技術と人間のありようについての考えを深める。
学年末 考查まで	体験と思索 「カフェの開店準備」 論文を読む 「淋しい人間—『こころ』を通じて」	・ 深い思索をもとに日常のありさまを綴った文章を読んで、自分自身の日々のあり方について考えを深める。 ・ 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。
評価方法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況、課題テスト、定期考査	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
国語	古典探究	2	理数	必修	2
使用教科書 副教材等	高等学校 古典探究（数研出版）				
学習目標	我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	説話 「大江山」 故事 「漱石枕流」「華歆・王朗」 「江南橘為江北枳」 歌物語 「伊勢物語」「大和物語」	・ 古典を読むために必要な文語のきまり、文章の構成や展開、評点の特色について理解を深める。 ・ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げ深める。 ・ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	随筆 「徒然草」 中国の詩 「絶句」「律詩」 日記文学 「更級日記」 史伝 「鴻門之会」	・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・ 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・ 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを広げ深める。 ・ 登場人物の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察する。
二 学 期 末 考 査 ま で	史伝 「四面楚歌」「項王自刎」 物語 「源氏物語」	・ 登場人物の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察する。 ・ 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを広げ深める。
学 年 末 考 査 ま で	和歌 「古今和歌集仮名序」 思想 「荀子」「老子」「韓非子」 日記文学 「建礼門院右京大夫集」 歴史物語 「大鏡」	・ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げ深める。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。
評 価 方 法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況、課題テスト、定期考査	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
公民	公共	2	全	必修	2
使用教科書 ・副教材等	高等学校公共（第一学習社） 公共ノート（第一学習社） フォーラム公共（とうほう）				
学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち I 公共的な空間と人間とのかかわり II 社会に参画する自立した主体として 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 I 人間としてのあり方生き方についての探求 II 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 第3章 公共的な空間における基本的原理 I 自立した主体となることに向けて II よりよい公共的な空間づくりをめざして	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。
二学期期末 考查まで	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 第2章 政治的な主体となる私たち	・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 ・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。
学年末 考查まで	第3章 経済的な主体となる私たち 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 ・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。
評価方法	① 定期考查 ② 課題考查 ③ 授業態度 ④ 課題・提出物 以上を総合的に判断して評価します。	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
地理歴史	地理探究	2	人文・医看 ・理数系	選 択	2
使用教科書 ・副教材等	新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） 新詳地理資料 COMPLETE 2023（帝国書院）、23 サクシード地理（啓隆社）				
学習目標	グローバル化する現代において必要な基本的知識の定着を図り、身近な地域や世界の諸地域への興味関心を高める。また、地理的なものの見方・考え方を身に付ける。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 地形 2節 気候 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題	- 世界の地形について、大地形、小地形、そのほかの地形の分布や特徴、成因について考察するとともに、災害や土地利用など人間生活との関わりを考察する。 - 世界の気候について、地域ごとの違いとその要因について理解を深めるとともに、気候区ごとの特徴や人間生活との関係を考察する。また、地球規模での気候変動と人々への影響を考察する。 - 日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、土地開発の状況などもふまえて防災のあり方を考察する。 - 世界の環境問題について、その背景や原因、影響、対策を多面的に考察する。また、日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取組を考察する。
二学期中間 考查まで	第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食料問題	- 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて捉えるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。 - 食料問題について、世界の食料需給の地域的な偏りを大観し、発展途上国と先進国の事例を考察する。
二学期期末 考查まで	3節 エネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業	- 世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や分布、利用の現状や方法を考察する。 - 資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し、問題の原因や近年の動向、問題解決の取組を考察する。また、日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 - 世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題を考察する。
学年末 考查まで	6節 第3次産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏	- 第3次産業について、その特徴や発展の背景、地域差等を捉えるとともに、世界と日本の観光業の特徴を考察する。 - 交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえる。 - 観光業について、その特徴や利点をしり、課題を考察する。 - 現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。
評価 方法	【関心・意欲・態度】授業態度・ノート整理等 【思考・判断・表現】定期考查・発表 【資料活用 of 技能】授業態度・発表 【知識・理解】小テスト・定期考查	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
数 学	数学Ⅱ・数学B	2	理数	必 修	6
使用教科書 副教材等	高等学校 数学Ⅱ、高等学校 数学B（数研出版） 4プロセス 数学Ⅱ＋B（数研出版）、チャート式 Ⅱ＋B（数研出版）				
学習目標	図形と方程式、三角関数、指数・対数関数、微分法、積分法、ベクトル、数列についての理解を深め、基礎的な知識と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばし、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 1 点と直線 2 円 3 軌跡と領域 数学Ⅱ 第4章 三角関数 1 三角関数 2 加法定理	- 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 - 座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 - 図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 - 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 - 加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
二学期中 間考查まで	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 1 指数関数 2 対数関数 数学B 第3章 数列 1 等差数列と等比数列 2 いろいろな数列	- 指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 - 対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 - 数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。 - 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。
二学期末 考查まで	3 漸化式と数学的帰納法 数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 1 微分係数と導関数 2 導関数の応用	- 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。 - 微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 - 導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。
学年末 考查まで	3 積分法 数学B 第4章 確率分布と統計的な推測 1 確率分布 2 統計的な推測	- 積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 - 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。 - 母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。
評価方法	【知識・技能】 授業・課題・単元テスト・定期考查等で判断する。 【思考力・判断力・表現力】 授業中の解答状況や発表、課題、定期考查等で判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
理 科	生物基礎	2	医看・理数	医看：必修 理数：選択	2
使用教科書 副教材等	高等学校 生物基礎（第一学習社）、新コンセプトノート生物基礎（浜島書店）、 生物基礎実験ノート・問題集2023（愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門）、 2023新課程版セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、 二訂版ニューステージ生物図表（浜島書店）				
学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き	・生物に共通してみられる特徴や、生物にそのような特徴がみられる理由について観察や資料などから見い出して理解する。 ・ATPという物質が、代謝でエネルギーが出入りする際の仲立ちをしていることを理解する。 ・DNAの構造は、遺伝情報を保持し複製するのに適していることを理解する。 ・DNAの遺伝情報にもとづいて、タンパク質が合成される過程を理解する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	第2編 ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節	・体内環境をほぼ一定に保ち、からだの状態を安定に維持するために、内分泌系と自律神経系が働いていることを理解する。また、それらの働きの違いを理解するとともに、これらが協調して働いていることを理解する。 ・ヒトには病原体からからだを守るしくみとして、病原体の侵入を防ぐしくみや、侵入した病原体を白血球によって排除するしくみが備わっていることを理解する。さらに、自然免疫と獲得免疫のそれぞれのしくみについて理解する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生と遷移 第5章 生態系とその保全	・地球上のそれぞれの地域にはさまざまな環境の違いがあり、その環境に適応した生物が生活している。それぞれの地域で環境に応じて植生は移り変わり、分布に違いが生じることを理解する。 ・生態系を構成する非生物的環境と生物はどのように関わっているのか。生物どうしはどのようなつながりをもって生活しているのか。また、人間活動が生態系にどのような影響を及ぼしているのかを理解する。
評 価 方 法	【知識・技能】 小テスト、定期考査等で評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査、実験ノート等の内容で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度及び発表、実験ノート・提出物等の内容で評価する	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
理 科	生 物	2	医看・理数	医看：必修 理数：選択	2
使用教科書 副教材等	高等学校 生物（第一学習社）、2023新課程版セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、生物実験ノート・問題集2023・2024（愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門）、二訂版ニューステージ生物図表（浜島書店）				
学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
二 学 期 末 考 査 ま で	第1編 生物の進化と系統 第1章 生物の進化 第2章 生物の系統と進化	・生命の起源や細胞の進化について、原始地球の環境とその変化と関連づける。 ・突然変異と生物の形質の変化との関係と、有性生殖によって遺伝子の組み合わせが多様になることを見出して理解する。 ・進化のしくみに関する観察、実験などを行い、遺伝子頻度が変化する要因を見出して理解する。 ・タンパク質のアミノ酸配列や遺伝子の塩基配列の資料にもとづいて、生物の系統と進化について理解する。 ・系統樹の基本的な作成方法を理解する。 ・類人猿と人類に関する資料をもとに、人類の系統、および進化を形態的特徴と関連づけて理解する。
学 年 末 考 査 ま で	第2編 生命現象と物質 第3章 細胞と分子 第4章 代謝	・細胞を構成する元素や物質の概略、および細胞内の構造体について理解する。 ・細胞を構成する物質を、細胞の機能と関連づけて理解する。 ・タンパク質の構造と性質を理解する。 ・生体内のタンパク質には、さまざまな機能をもつものがある。その例として、酵素がさまざまな化学反応の触媒として働くことを、生命現象と関連づけて理解する。 ・膜輸送タンパク質の種類や働き、および受容体によって細胞に情報が伝達されるしくみを理解する。 ・代謝において、エネルギーの受け渡しに関与する物質について理解する。 ・光合成色素とそれらが吸収する光の波長について理解する。 ・光合成において光エネルギーが化学エネルギーに変換される過程を理解する。 ・細菌が行う炭酸同化について理解する。 ・生物が有機物を分解する異化によって放出されるエネルギーを用いてATPを合成し、生命活動を営んでいることを理解する。 ・呼吸の過程を学び、発酵に比べてATPの生産効率が高いことを理解する。 ・呼吸基質には、炭水化物以外に脂肪やタンパク質も使われることを理解する。 ・呼吸商を測定すると、利用されている呼吸基質を推定できることを理解する。
評 価 方 法	【知識・技能】 小テスト、定期考査等で評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査、実験ノート等の内容で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度及び発表、実験ノート・提出物等の内容で評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教科 理科	科目 化学	履修学年 2 年	コース 理数系	履修区分 必修	単位数 2
使用教科書 ・副教材等	化学（数研出版） 化学基礎・化学実験ノート（愛媛県高等学校教育研究会理科部会化学部門） セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）				
学習目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	第1編 物質の状態 第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 液体	・物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。 ・状態変化に伴うエネルギーの出入り及び状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解する。 ・気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。 ・気体定数と状態方程式、分子量の関係を理解する。 ・結晶格子の概念及び結晶の構造を理解する。 ・溶解の仕組みを理解する。 ・溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。 ・身近な現象を通して溶媒と溶液の性質の違いを理解する。 ・コロイド溶液の性質を理解する。
一学期中間 考查まで	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー	・化学反応に伴う熱や光の発生や吸収は反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差であることを理解する。 ・外部から加えた電気エネルギーによって電極で酸化還元反応が起こることを理解する。 ・反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について理解する。 ・電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを理解する。
一学期期末 考查まで	第3章 化学反応の速さとしくみ	・反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。 ・化学反応の仕組みから反応速度の操作法を理解する。
学年末 考查まで	第4章 化学平衡 第3編 無機物質 第1章 非金属元素 第2章 金属元素（Ⅰ）—典型元素—	・可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。 ・水のイオン積、pH 及び弱酸や弱塩基の電離平衡について理解する。 ・周期表から単体の性質について理解する。 ・非金属元素・典型金属元素の単体及び化合物の性質を理解する。
評価方法	【知識・技能】 小テスト、定期考查、ノートの記述、観察・実験の態度、実験プリントの記述で評価 【思考・判断・表現】 授業発表、観察・実験の態度、ノートの記述、定期考查等で評価 【主体的に取り組む態度】 出欠状況、授業態度、授業発表、ノート等の整理状況で評価	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	物理	2年	理数系	選択	2
使用教科書・副教材等	高等学校 物理基礎（第一学習社） 高等学校 物理（第一学習社） 物理基礎問題集（高教研理科部会） 物理基礎・物理実験ノート（高教研理科部会）				
学習目標	物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を育成する。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 末 考 査 ま で	熱力学 1. 熱とエネルギー 熱と温度 エネルギーの変換と保存 気体の圧力と熱運動 2. 気体の性質と分子の運動 気体の法則 気体の分子運動 気体の内部エネルギーと仕事	・熱がエネルギーの一形態であることを理解する。 ・物体の熱容量や物質の比熱を用いて熱量の計算をする。 ・熱力学第一法則を学習する。 ・分子運動、絶対温度の関係を分子の立場で考え、学習する。 ・ボイル・シャルルの法則を学習する。 ・理想気体の状態方程式を学習する。 ・単原子分子の気体の内部エネルギーについて学習する。 ・気体の定積変化、定圧変化、等温変化、断熱変化について学習する。 ・熱機関と熱効率について学習する。 ・熱力学第二法則について学習する。
学年末 考 査 ま で	波動 1. 波の性質 波の表し方と波の要素 波の重ね合わせ 2. 音の伝わり方 波の干渉・反射・屈折・回折 3. 音波 音の伝わり方 ドップラー効果 4. 光波 光の性質 レンズと鏡 光の回折と干渉	・振幅、波長、周期、振動数、速さとそれらの関係を学ぶ。 ・波の重ね合わせの原理、定常波について学習する。 ・波の自由端反射と固定端反射について学習する。 ・音波は縦波であること、音速、音の三要素について学ぶ。 ・1秒間あたりのうなりの回数を計算する。 ・弦の振動、気柱の共鳴を通して発音体について学習する。 ・ホイヘンスの原理について学習する。 ・音波の反射・屈折・回折・干渉を理解する。 ・波源と観測者とが相対的に運動しているときにドップラー効果が起こることを理解する。 ・光にも反射・屈折の法則が成りたつことを理解する。 ・全反射やレンズの性質について理解する。 ・ヤングの実験や回折格子など、干渉について学習する。
評価方法	【知識・技能】 定期考査等で評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査、実験レポート等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、実験レポート、授業中の態度等で評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	物理基礎	2年	理数系	選択	2
使用教科書・副教材等	高等学校 物理基礎（第一学習社） 高等学校 物理（第一学習社） 物理基礎問題集（高教研理科部会） 物理基礎・物理実験ノート（高教研理科部会）				
学習目標	物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を育成する。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	力学 1. 物体の運動 速度(平面運動含む) 加速度 落下運動（放物運動含む） 2. 力のはたらきとつりあい さまざまな力 力の合成・分解とつりあい 3. 運動の法則 運動の3法則 運動方程式の利用 抵抗力を受ける運動 4. 仕事と力学的エネルギー 仕事と仕事率 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー	- 等速直線運動・相対速度について学習する。 - 等加速度直線運動の公式の具体的な運用に慣れる。 - 落体の運動等を学習する。 - 力がベクトルであることを理解する。 - 静止摩擦力、動摩擦力について学習する。 - ニュートンの運動の法則を学習する。 - 運動方程式を用いて、連結された物体の運動を考える。 - 終端速度について学習する。 - 仕事の定義を正確に理解する。 - 力学的エネルギーについて運動エネルギーと位置エネルギーとの関係を理解する。
二学期中間 考查まで	5. 剛体のつりあい 剛体にはたらく力とその合力、 剛体の重心とつりあい 6. 運動量の保存 運動量と力積 運動量保存の法則 反発係数 7. 円運動と単振動 円運動 慣性力と遠心力 単振動万有引力による運動	- 力のモーメントの概念を理解し、剛体のつりあいについて学習する。 - 運動量、力積がベクトル量あること、運動量の変化量が力積に等しいことを理解する。 - 運動量保存の法則が物体の衝突、分裂において成立することを理解する。 - 等速円運動を角速度、周期、向心加速度、向心力を通して考える。 - ばね振り子や単振り子の変位、速度、加速度と復元力の関連を学習する。 - ケプラーの法則、万有引力を学習する。
評価方法	【知識・技能】定期考查等で評価する。 【思考・判断・表現】定期考查、実験レポート等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、実験レポート、授業中の態度等で評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
保健体育	保 健	2	全	必修	1
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）				
学習目標	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 期 末 考 査 ま で	「生涯を通じる健康」 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康	・生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることを理解する。 ・生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることを理解する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 「健康を支える環境づくり」 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康	・生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解する。 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあり、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解する。
一 二 学 期 期 末 考 査 ま で	3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動	・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。
学 年 末 考 査 ま で	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	・環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。 ・医薬品の正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組みについて理解する。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながるということを理解する。
評 価 方 法	【知識・技能】授業中の発表、行動観察（グループワーク）、ペーパーテスト（期末考査）などで評価する。 【思考・判断・表現】授業中の発表、行動観察（グループワーク）、ノートの記述内容などで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
保健体育	体 育	2	全（女子）	必 修	3
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）				
学習目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	体づくり運動 球技Ⅰ 「ソフトボール」・「テニス」 水泳 「各種泳法（クロール・平泳ぎ）」 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅰ」	・中央高校体操、体ほぐしの運動、体力を高める運動などを通して、運動の意義や方法を理解できるようにする。 ・集団行動の主な行動様式を身に付け、集団の約束や決まりを守って行動できるようにする。 ・積極的な打撃と守備の連携プレイによって、攻防を展開できるようにする。（ソフトボール） ・パートナーと連携し、相手コートに空いている場所をめぐる攻防が展開できるようにする。（テニス） ・自己に適した泳法の効率を高めて、泳ぐことができるようにする。 ・水泳の事故防止に関する心得を理解し、健康・安全を確保して活動できるようにする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
二学期中間 考查まで	球技Ⅰ 「ソフトボール」・「テニス」 ダンス 「現代的なリズムのダンス」	・状況に応じた攻撃や走塁と守備の連携プレイによって、攻防を展開できるようにする。（ソフトボール） ・パートナーと連携し、コースや球種を打ち分けるストロークによって攻防を展開できるようにする。（テニス） ・リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりをつけて、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。
二学期期末 考查ま	球技Ⅱ 「テニス」・「ソフトボール」 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅱ」	・パートナーと連携し、相手コートに空いている場所をめぐる攻防が展開できるようにする。（テニス） ・積極的な打撃と守備の連携プレイによって、攻防を展開できるようにする。（ソフトボール） ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
学年末 考查まで	陸上競技（中・長距離走） 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅲ」	・自己の能力に応じて、中・長距離を速く走ることを目指し、ねばり強く走りきれぬ根気と体力を養う。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
評価方法	【知識・技能】行動観察（運動の特性やルールなどの理解）、スキルテストやペーパーテストなどで評価する。 【思考・判断・表現】授業中の発表、行動観察、ワークシートの記述内容などで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
保健体育	体 育	2	全（男子）	必 修	3
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）				
学習目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	体づくり運動 球技Ⅰ 「バドミントン」・「ハンドボール」 水泳 「各種泳法（クロール・平泳ぎ）」 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅰ」	・中央高校体操、体ほぐしの運動、体力を高める運動などを通して、運動の意義や方法を理解できるようにする。 ・集団行動の主な行動様式を身に付け、集団の約束や決まりを守って行動できるようにする。 ・パートナーと連携し、相手コートに空いている場所をめぐる攻防が展開できるようにする。（バドミントン） ・グループで、走りながらのプレイを使って、スペースを生かした攻防を展開できるようにする。（ハンドボール） ・自己に適した泳法の効率を高めて、泳ぐことができるようにする。 ・水泳の事故防止に関する心得を理解し、健康・安全を確保して活動できるようにする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
一学期中間 考查まで	球技Ⅰ 「バドミントン」・「ハンドボール」	・パートナーと連携し、コースや球種を打ち分けるストロークとその予測によって攻防を展開できるようにする。（バドミントン）。 ・状況に応じてパスやシュートを使い分け、チームで連携したプレイによってスペースに応じた攻防ができるようになる。（ハンドボール）
二学期期末 考查まで	球技Ⅱ 「ハンドボール」・「バドミントン」 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅱ」	・グループで、走りながらのプレイを使って、スペースを生かした攻防を展開できるようにする。（ハンドボール） ・パートナーと連携し、相手コートに空いている場所をめぐる攻防が展開できるようにする。（バドミントン） ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
学年末 考查まで	陸上競技（中・長距離走） 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅲ」	・自己の能力に応じて、中・長距離を速く走ることを目指し、ねばり強く走りきれぬ根気と体力を養う。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
評価方法	【知識・技能】行動観察（運動の特性やルールなどの理解）、スキルテストやペーパーテストなどで評価する。 【思考・判断・表現】授業中の発表、行動観察、ワークシートの記述内容などで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
外国語	英語コミュニケーションⅡ	2	理数・英語	必修	3
使用教科書 副教材等	BIG DIPPER English CommunicationⅡ（数研出版）				
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	Lesson 1 Why Don't You Come to School in Pajamas? Lesson 2 Is Seeing Believing? Lesson 3 Do You Get Enough Sleep?	・海外の学校行事に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする自分の考えを書いたり話したりする。 ・受動態・不定詞・助動詞+be+過去完了形 ・「だまし絵アート」に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、新聞記事から「だまし絵」をどのように活用したかを理解する。さらに、自分の考えを書いたり話したりする。 ・関係代名詞（限定用法・継続用法）・現在完了形・過去完了形 ・睡眠に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、インターネットの商品購入画面を読み、各商品内容を理解させる。 ・仮定法過去・関係代名詞what・関係副詞when /where
二学期中 間考查まで	Lesson 4 Do You Want to Speak English like a Native Speaker? Lesson 5 Universal Design: Convenient for All	・英語学習に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、インターネットの記事を読み、ELFの概念を理解させる。 ・関係代名詞（継続用法）・関係副詞why・SV00(O=that節) ・ユニバーサルデザインに関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、ユニバーサルデザインの課題についての発表を理解しながら、自分の考えを書いたり話したりする。 ・分詞構文・進行形の受動態・関係副詞where継続用法・形式目的語
二学期末 考查まで	Lesson 6 Wakamiya Masako: The World's Oldest Game App Developer Lesson 7 Learning from Nature	・高齢者の活躍に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、その活動について調べた生徒の発表を理解させながら、自分の考えを書いたり話したりする。 ・SVC(C=分詞)・受動態の分詞構文・SVOC(C=過去分詞) ・生物模倣によって生まれたものに関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、生物をヒントにした飛行機の開発史を調べた発表内容を理解して、自分の考えを書いたり話したりする。 ・未来進行形・完了不定詞・動名詞の意味上の主語・省略
学年末 考查まで	Lesson 8 The Wisdom of Preserving Food Lesson 9 The Sharing Economy: Something for everyone? Lesson 10 Sand and Concrete: A Basis of Our Life	・保存食に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、イチゴジャムの作り方を読み、レシピ特有の表現を理解させる。 ・仮定法過去完了・as if～・Without～・レシピによく出る表現 ・「シェアリングエコノミー」に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、ファッションシェアリングのウェブサイトを理解して、自分の考えを書いたり話したりする。 ・未来完了形・無生物主語構文・SVC(C=that節) ・コンクリート建造物に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりする。また、シンガポールの砂の輸入問題についての新聞記事を読み、自分の考えを書いたり話したりする。 ・関係副詞whenの継続用法・複合関係詞whatever・倒置
評価方法	【知識及び技能】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステスト等で評価する。 【思考力・判断力・表現力等】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステスト等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度・授業中の発表・ペアワーク・ノートやプリントの整理状況等で評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
外国語	論理・表現Ⅱ	2年	全	必修	2
使用教科書 副教材等	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅱ（開隆堂） チャート式 BIG DIPPER（数研出版）				
学習目標	多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見、主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝えることができる。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	Lesson 1 Reflections Before Starting a New Life Lesson 2 Let Your Dreams Come True Step-up Paragraph Writing 1 Lesson 3 Dos and Don'ts in Social Media Scene 1 電話をしよう Lesson 4 Future Prospects Step-up Presentation 1	・ 現在と過去を表す表現 自分や友だちの興味・関心について紹介する。 ・ 未来を表す表現 自分の将来の計画や夢について紹介する。 ・ 構成を考えながら英文を作る。 ・ 助動詞 SNSの使い方について発表する。 ・ 電話をするときの多様な状況を想定して会話をする。 ・ 完了形 将来予測される事柄について発表する。 ・ スライドを使ってプレゼンテーションをする。
二学期中 間考査まで	Lesson 5 Let's Keep in Good Shape Scene 2 買ったものを交換しよう Lesson 6 Energy Consumptions in the World Lesson 7 Voter Turnout in Comparison Step-up Debate 1	・ 受動態 健康によいと言われている行動について発表する。 ・ 購入品を交換する状況を想定して会話をする。 ・ 比較①（比較級、最上級） 世界のエネルギー消費の実態について、問題点も含めて発表する。 ・ 比較②（同等比較、倍数比較） 国ごとの投票率の違いについて、その背景を含めて発表する。 ・ ディベートの準備をする。
一学期末 考査まで	Lesson 8 What Has Impressed Me the Most Scene 3 招待状を書こう Lesson 9 Sports for Everybody Step up Paragraph Writing 2 Lesson 10 The Latest News from around the World	・ 動名詞 これまでに感銘を受けた人物や本などについて紹介する。 ・ さまざまな場面で招待状を書く想定で文章を書く。 ・ to不定詞 年齢・性別に関係なく楽しめるスポーツについて紹介する。 ・ 複数のパラグラフに分けて、意見や考えをまとめながら英文を書く。 ・ 分詞（現在分詞、過去分詞） 報道番組で取り上げたいニュースについて説明する。
学年末 考査まで	Lesson 11 Let's Find Out What We Can Do for Others Step-up Presentation 2 Lesson 12 Learn about Other Countries and People Lesson 13 Global Issues Lesson 14 Food Culture around the World Step up Debate 2	・ 関係詞①（関係代名詞） 国内外で必要とされているボランティア活動について発表する。 ・ データを使ってプレゼンテーションをする。 ・ 関係詞②（関係副詞） 将来住みたい場所について、その魅力が伝わるように説明する。 ・ 仮定法 環境問題や社会問題について、その解決方法を的確に説明する。 ・ 特殊構文 さまざまな国の食文化について、その背景も含めて発表する。 ・ オンライン通信はよいかどうかについて本格的なディベートをする。
評価方法	【知識・技能】 小テスト、定期考査等で評価する。 【思考・判断・表現】 発表、小テスト、定期考査、提出課題で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠状況、授業態度、発表（スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション）、提出課題、ノートの整理で評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
情報	情報 I	2年	全	必履修	2
使用教科書 副教材等	最新情報 I (実教出版) 最新情報 I 学習ノート(実教出版)				
学習目標	情報社会に主体的に参画するため、情報に関する科学的な見方・考え方を身に付け、身の回りの問題を発見し、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して解決する資質・能力を身に付ける。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	○オリエンテーション 1章 情報社会と私たち 1 情報社会 2 情報社会の放棄と権利 3 情報社会が築く新しい社会 2章 メディアとデザイン 1 メディアとコミュニケーション 2 情報デザイン 3 情報デザインの実践	情報社会の現状や特性について理解する。 情報化が個人に及ぼす影響について理解する。 著作権等の権利や、それらを利用したり保護する重要性を理解し、情報モラルを守って行動できるようにする。 各メディアの特性について知り、特にインターネットを用いてより効果的なコミュニケーションができるようにする。 情報をわかりやすく伝達するための技術を学び、より効果的に情報発信ができるようにする。
二学期末 考查まで	3章 システムとデジタル化 1 情報システムの構成 2 情報のデジタル化 4章 ネットワークとセキュリティ 1 情報通信ネットワーク 2 情報セキュリティ 5章 問題解決とその方法 1 問題解決 2 データの活用 3 モデル化 4 シミュレーション	コンピュータの構成やデジタル化の原理や利点を理解し、情報を適切に活用する知識を身に付ける。 情報通信ネットワークの構成について理解し、ネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解するとともに、データを効率よく転送する工夫についても理解する。 情報セキュリティを確保する方法と技術について学び。情報を安全に取り扱うことができるようにする。 見出された問題を、明確化・整理・分析することにより合意形成を目指した解決案を決定する方法について理解する。 データを収集・整理・分析し、問題解決のために活用する手法について理解する。
学年末 考查まで	6章 アルゴリズムとプログラミング 1 プログラミングの方法 2 プログラミングの実践	プログラミング言語の種類や特徴について理解する。 変数や関数を使用したプログラムを設計するための基礎を理解する。 問題解決のためのアルゴリズムを考え、プログラムを作成することができる。
評価方法	【知識・技能】：定期考查、実習における処理の速さや正確性等で評価する。 【思考・判断・表現】：定期考查、実習における取組等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】：授業態度、学習ノートの整理状況等で評価する。	